

II-4

ガゴメ昆布フコイダンの婦人科系がん既往者等の体質への効果

○許 鳳浩¹⁾, 大野木 宏²⁾, 上馬場 和夫³⁾, 小池 浩司⁴⁾, 橋本 慎太郎⁵⁾, 鈴木 信孝¹⁾

1) 金沢大学医薬保健学総合研究科臨床研究開発補完代替医療学, 2) タカラバイオ株式会社,
3) 浦田クリニック, 4) 小池レディスクリニック, 5) 大名町スキンクリニック

【目的】

ガゴメ昆布は北海道に生育する食用の海藻であり、硫酸化多糖類のフコイタンを豊富に含むことが知られている。ガゴメ昆布フコイタンには、免疫賦活作用や抗腫瘍作用、インフルエンザ感染予防作用など基礎試験の結果が報告されているほか、高齢者やがん治療者に対する研究も行なわれている。近年、乳がんや子宮がんなどの婦人科系がんの罹患者数が増加傾向を示しているが、これら婦人科系がんは他のがんに比べて生存率が高く、補完代替医療を併用することにより体調管理や体質改善を図ることも多いと考えられる。そこで、今回ガゴメ昆布フコイダンの婦人科系がん既往者等の体質への効果を調べることを目的とした。

【方法】

婦人科系がん（乳がん、子宮がん）の既往者ならびに高リスクヒトパピローマ持続感染者の 10 名の女性（51.9±15.2 歳）を対象に、ガゴメ昆布フコイタン（200mg/日）を配合した飲料を 4 週間摂取させ、摂取前後の体質を評価した。体質は体質調査票（CCMQ-J ver. 2.0）を、QOL は EORTC QLQ-C30 を用いた。また、安全性評価として血液生化学的検査、血算、尿一般検査を行った。本研究は日本補完代替医療学会倫理審査委員会にて審査、承認を行った。

【結果】

体質や QOL 評価において、10 名の被験者のうち 8 名の EORTC QLQ-C30 の症状スケールである「倦怠感」の好転傾向が認められ、体質では、うち 6 名の平和質スコアの有意な増加が認められた。安全性評価において、臨床的に問題となる変動は認められず、有害事象も発生しなかった。

【結論】

今回の結果から、ガゴメ昆布フコイダンの摂取が婦人科系がん既往者等の体質を改善できる可能性が示され、QOL 向上の可能性も示唆された。治未病の観点からも、がん既往者の体質改善は重要な課題であり、ガゴメ昆布フコイタンや他の食品成分の有用性について今後、さらに研究を進める必要があると思われた。